

会 議 報 告 書

先に開催しました令和3年度第2回当別町社会教育委員会の内容について、下記のとおり報告いたします。

- 1 開催日時 令和4年3月18日（金）15：30～16：25
- 2 開催場所 白樺コミュニティーセンター大研修室
- 3 出席者 浜上委員長、大浦委員、曾川委員、伊藤委員、藤原委員、吉野委員
須藤委員、川合委員 （欠席）昇副委員長、近藤委員
- 4 会議内容
 - 1 開会 進行：石川社会教育課長
 - 2 教育長挨拶：本庄教育長挨拶
 - 3 委員長挨拶：浜上委員長
 - 4 議事 議長：浜上委員長
報告第1号 令和3年度当別町社会教育事業報告について
説明：下村係長
 - ・資料に基づき説明
 - ・大浦委員～日本体育大学連携講座の具体的な内容は。内容や種目など学校に求めはないのか。
 - ・事務局～新型コロナの影響で、現在は日体大側としても派遣や受入れが難しいとのお話がある。具体的な内容については、今後の協議次第となる。
さらに協議が進み、学校に要望を聞く段階になった際には聞き取りなどを行いたい。
 - ・浜上委員長～Zoomで様々な事業を行った成果は。
 - ・事務局～例えば意見発表会では、当初書面審査のみという案もあったが、Zoom開催にし、子ども達が声に出し発表する機会をつくることで、論調や態度なども含めて審査することができ、後日YouTube配信をしたことで、多くの地域の方に子ども達の思いを届けることができた。
その他にも、歴史学習講座など、新型コロナにより会場参集できない状況でも自宅から学ぶ機会を提供することができた。
 - ・浜上委員長～今後も新型コロナに関わらず、状況によってはZoom等を活用していくのも良い。
 - ・曾川委員～とうべつ学園図書館の規模や冊数は。
 - ・事務局～当別小学校と当別中学校の図書の中から、選抜して持っていくことになる。冊数は13,000冊程になる予定。

報告第2号 令和3年度当別町図書館運営状況について

説明：下村係長

- ・資料に基づき説明
- ・浜上委員長～電子図書館については導入検討されているのか。
- ・事務局～令和4年度予算査定時に要求したが、財政厳しい折、予算がつかなかった。査定の際には、導入の場合の利用見込みなどを精査するよう指摘があった。
- ・浜上委員長～大学でもテキストの電子化が進んでいる。
- ・須藤委員～図書館利用者に、電子図書館を導入した場合利用するか、聞き取りをしてはどうか。
- ・大浦委員～児童生徒は一人一台端末を持っている。紙の図書は情報が古くなるし、省スペースで運用できる電子図書館はぜひ導入してほしい。

報告第3号 当別町文化財の指定について

説明：下村係長

- ・資料に基づき説明
- ・浜上委員長～町民が北大博物館に化石を見に行く企画は考えているのか。
- ・事務局～小学生対象のバスツアーを予定している。一般の方向けも検討する。

協議第1号 令和4年度当別町社会教育推進計画（案）について

説明：下村係長

- ・資料に基づき説明
- ・大浦校長～とうべつ学園図書館地域開放については、開放するだけではあまり意味がないのではないかと。学校からの要望としては、図書館司書の派遣回数を増やしてほしい。そのための予算を確保してほしい。また、別件だが、西当別地区の子ども達が本町地区のプールに来る際の交通手段としてふれバを無料化してほしい。旧西当別中学校プールは、危険なので早急に解体してほしい。
- ・事務局～予算が関わる部分については、この場で明言できないが、学校教育課や財政課と協議を進める。
- ・吉野委員～子ども会の事業、宿泊事業など、新型コロナの影響でここ数年取り組めなかったが、令和4年度は再開していきたいと考えている。

5 その他 事務局～社会教育委員向けの機関紙を配布する。ご高覧願いたい。

6 閉会